

2025年2月20日
第144号
(Web版第38号)

日本犯罪社会学会ニュース

発行

日本犯罪社会学会
JAPANESE ASSOCIATION OF
SOCIOLOGICAL CRIMINOLOGY

- I 第51回大会開催報告
 - II 理事会開催報告
 - III 第51回総会開催報告
 - IV 第52回(2025年度)大会の日程と、大会における電子化の推進について
 - V 第52回(2025年度)大会 テーマセッション企画募集
 - VI 第52回(2025年度)大会 自由報告募集
 - VII 犯罪社会学研究の自由論文投稿時のチェックリスト改定について
 - VI 第24回(2025年度)「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集
 - VI 終身会員制度のご案内
 - X 各部・委員会報告
 - XI 第18期編集委員会委員査読委員の不掲載に関するお詫び
- 付 会計資料

※第107号からニューズレターはWebのみで発行しております。

※会員動向につきましては、年間1回、会員のみに詳細版を郵送いたします。

I 第 51 回大会開催報告

日本犯罪社会学会第 51 回大会が、2024 年 10 月 19 日（土）、20 日（日）の 2 日間にわたり、京都大学吉田キャンパスで開催されました。大会シンポジウムとして、森久智江会員（立命館大学）による「刑事司法における『対話』」が開催され、盛況のうちに閉幕いたしました。大会校を引き受けてくださった京都大学のみなさま、ならびにご参加いただいた会員のみなさまに心より御礼申し上げます。ありがとうございました。なお『日本犯罪社会学会第 51 回大会報告要旨集』は、学会ウェブサイトにて 3 月上旬にアップロードされる予定です。大会の内容につきましては、そちらの要旨集をご覧ください。

II 理事会開催報告

2024 年 10 月 18 日（金）16:00 から、キャンパスプラザ京都会議室にて、第 18 期第 3 回全国理事会が開かれ、総会に発議・報告する事案についての検討が行われました。開会時点において、出席理事数 14 名、委任状提出理事 10 名の計 24 名であり、定足数を満たしていることが確認されました。

1. 審議事項は以下のとおりでした。

（1）2023 年度一般会計決算案、2023 年度特別会計決算案について、赤羽理事より提案され、承認されました。（2）2023 年度会計監査について、田中監事より会計事務が適正に執行されているとの監査結果が報告され、承認されました。（3）2024 年度一般会計補正予算・2025 年度一般会計予算案、2025 年度特別会計予算案について、赤羽理事より提案され、承認されました。（4）会則の改正案について、浜井会長より提案され、承認されました。（5）名誉会員の推挙について、浜井会長より提案され、承認されました。（6）8 名の入会希望者の入会承認について、相澤理事より提案され、承認されました。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

（1）奨励賞の選考結果について、野田委員長に代わり相澤理事より、本年度は受賞作なしとすることが報告されました。（2）第 50 回大会（立正大学）の会計報告について、原田大会実行委員長に代わり丸山理事より報告が行われました。（3）国立国会図書館インターネット資料収集保存事業に係る許諾の依頼について、相澤理事より報告が行われました。

III 第 51 回総会開催報告

2024 年 10 月 19 日（日）16:30 から京都大学吉田キャンパスにて、第 51 回総会が開かれました。本部事務局庶務部が開会を宣言し、総会議長に土井政和会員と大貝葵会員が選出されました。

1. 審議案件は以下のとおりでした。

（1）大阪商業大学からの事務局移転に伴う会則 24 条の改正について、浜井会長により以下の通り、発議され、承認されました。

【改正案】

新：第 24 条（事務局）

本会の事務局は、理事会が定めた場所に置く。

旧：第 24 条（事務局）

本会の事務局は、当分の間大阪商業大学に置く。

(2) 2023 年度一般会計決算案および 2023 年度特別会計決算案について、相良理事より提案が行われ、承認されました。(3) 2023 年度一般会計決算案および 2023 年度特別会計決算案について、田中監事より監査報告が行われ、承認されました。以上につき、承認されました。(4) 2024 年度一般会計補正予算案、2025 年度一般会計予算案および 2025 年度特別会計予算案について、相良理事より提案が行われ、承認されました。(5) 名誉会員の承認について、浜井会長より、石塚伸一会員、佐々木光明会員、野田陽子会員、服部朗会員の 4 名の承認が提案され、承認されました。

2. 報告事項は以下のとおりでした。

(1) 奨励賞の選考結果について、野田委員長より本年度は受賞作なしとすることが報告されました。(2) 第 50 回大会(立正大学)の会計報告について、原田大会実行委員長より報告が行われました。(3) 各部・委員会報告として、各部・委員会から 1 年間の活動について報告されました。

(4) その他として、石塚伸一会員より、自身が代表をつとめる一般社団法人刑事司法未来で、アジア犯罪学会での若手報告者の支援として横山実会員より 100 万円を預かっており、希望する若手研究者は法人のホームページを通じて申請して欲しいとの報告がありました。

IV 第 52 回(2025 年度)大会の日程と、大会における電子化の推進について

第 52 回大会は 2025 年 10 月 11 日(土)、12 日(日)に中央大学茗荷谷キャンパス(東京都文京区)で開催されます。また、現時点で大会はインパーソンでの開催を予定しています。詳細が決まりましたら、ニュースレター及び学会ウェブサイトでお知らせします。

なお、本大会の印刷版のプログラムは発行しません。プログラムの電子版を、9 月中旬ごろ、学会ウェブサイトで公開する予定です。

また、これまでの経験をふまえて、本大会では、シンポジウムを含むすべての企画において、配付資料の電子化(オンライン配付)を実施します。参加者ご自身で、Google Drive から資料をダウンロードしていただきます(ダウンロードをする際、Google アカウントは不要です)。ダウンロード可能期間内であれば、いつでもダウンロード可能となります。また、大会当日、大会校では可能な限り Wi-Fi 環境を用意する予定です。詳細は、ニュースレター及び学会ウェブサイトでお知らせします。

●配布資料の原則電子化について

これまで試行的に実施してきた、配布資料の原則電子化について、本大会も前大会と同様に、以下のような方法で本格導入いたします。

〈配布方法と配布時期〉

プログラムおよび学会ウェブサイトで事前にお知らせする Google ドライブで配布いたします。学会開催前の所定の期日から閉会后 2 週間の間はアクセス可能で、その期間内であれば何度でもダウンロード可能です。

〈登壇者・資料配布者〉

配布したい資料がおありの方は、学会開催 1 週間前期間までに、研究委員会が指定する Google ドライブに保存してください。

また、大会当日、会場へご持参いただいた紙媒体での資料を配布いただくことは妨げません。ただし、部数が足りなくなった場合に追加で印刷を行う、余った資料を廃棄するといった対応は、大会校や研究委員会では出来かねますので何卒ご了承ください。

V 第 52 回 (2025 年度) 大会 テーマセッション企画募集

研究委員会では、第 52 回大会のテーマセッションの企画を会員の皆さまより募集します。犯罪社会学あるいは関連する周辺諸分野について現在関心をお持ちのテーマがありましたら、奮ってご応募ください。

なお、現時点では、テーマセッションの開催される日と時間帯は未定です。また、第 36 回大会より、それまでのミニシンポジウムとラウンドテーブル・ディスカッションの区分を廃し、統一して「テーマセッション」として開催しております。

●申込方法：Google フォームにて、以下の項目をお知らせください。

メールアドレス

申込者氏名 (所属)

企画テーマ名

セッション形式：ラウンドテーブル・ディスカッション or ミニシンポジウム

プロジェクトの要否

他学会等で類似の企画がなされている (予定も含む) 場合その詳細

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

●申込先 URL：<https://forms.gle/KQdBuLjgd4c4fw3p8>

※研究委員会や学会事務局へのメールでのお申込みは、ご遠慮ください。

●申込期限：2025 年 3 月 20 日 (木) 必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会 (担当委員：大谷 彬矩)

電子メールアドレス：hansha2025kenkyu@gmail.com

●連絡事項：

*大会はインパーソンでの開催を予定しています。

*各テーマセッションの時間として 180 分を確保します。

*報告者・話題提供者等は、フォームによるお申込みの段階では未定でも構いません。

*プロジェクトの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材 (PC、USB メモリ等) については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。

*申込が受理されると自動的にメールが届きます。メールが届かない場合は、メールアドレスが誤っている可能性がありますので、再度お申込みください。それでも届かない場合は、メールでお問合せください。メールは第 52 回大会窓口 [hansha2025kenkyu@gmail.com] と学会事務局 [hansha@daishodai.ac.jp] の両方に送信してください。

*プログラム構成上の制約により大会期間中に開催できるテーマセッションの数には限りがあるため、応募が多数であった場合は調整させていただくことがあり得ます。応募が受理できない場合は、研究委員会より 4 月末までにその旨をご連絡します。

*企画が採択された場合、2025 年 6 月 1 日 (日) までにプログラム原稿、大会終了後 2 週間以内に大会要旨集原稿をご提出いただきます。詳細は後日、研究委員会よりご案内します。

*複数の企画に登壇する報告者・話題提供者がいる場合、開催時間が重複しないように調整は行うものの、対応できない場合もあります。

*テーマセッション開催日時指定はできません。

*テーマセッションは、特定のテーマについて複数の報告者が報告・話題提供を行い、それを受けて参加者間でディスカッションを行うことに意義があります。フロアを交えた質疑応答やディス

カッションの時間を確保することを前提に、報告者・話題提供者の人数が過多にならないようにご注意ください。

- *大会以前に、他学会等で類似の企画がなされている（予定も含む）場合には、詳細の申告をお願いします。
- *コーディネーター・司会者・報告者・話題提供者・指定討論者の総数のうち非会員の割合 50%未満としてください。2025年7月開催の常任理事会時までに入会審査ができるように入会申し込みをいただき、当該常任理事会で新入会員として認められれば、応募時は非会員であっても会員とみなします。
- *企画テーマ名の変更は一切できません。
- *今大会では、レジュメ等の資料配布は原則としてオンラインで実施します。コーディネーターにはご自身の Google アカウントから、セッションで用いる全資料をアップロードしていただきます。詳細は後日、研究委員会よりメールにてご案内しますので、メールを必ずご確認ください。

VI 第 52 回（2025 年度）大会 自由報告募集

研究委員会では、会員の皆さまの自由報告を募集します。

- 申込方法：Google フォームにて、以下の項目をお知らせください。

メールアドレス

申込者氏名（所属）

共同研究者氏名（所属）

上記それぞれについて当日報告をするか否か

報告タイトル

プロジェクトの要否

大会プログラムに掲載する報告概要原稿（150 字以上 200 字以内）

（他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合）その詳細

※大学に所属のある場合、教員等は「〇〇大学」、大学院生は「〇〇大学大学院」と記載してください。

- 申込先 URL：<https://forms.gle/cofwBov2DdRVf77V7>

※研究委員会や学会事務局へのメールでのお申込みは、ご遠慮ください。

- 申込期限：2025年6月1日（日）必着

●問い合わせ先：日本犯罪社会学会研究委員会（担当委員：大谷 彬矩）

電子メールアドレス：hansha2025kenkyu@gmail.com

- 連絡事項：

*現時点で大会はインパーソンでの開催を予定しています。

*自由報告は1名でもグループでも申し込めます。

*申込者と報告者は会員に限ります。共同研究者は非会員でも構いませんが、当日の登壇はできません。

*1件の申込みにつき1つの報告となります。

*会員1名につき、申込み及び報告は1件までとなります。ただし、他の報告者の共同研究者となることは妨げません。

- * 報告時間は質疑応答を含めて 1 件 30 分以内（このうち報告時間は 20～25 分）となります。共同研究者がいる場合でも、報告時間は変わりませんのでご注意ください。
- * 申込みの時点で大会プログラムに掲載する報告概要の原稿（150 字以上 200 字以内）をご提出ください。原稿は、原則として修正できません。
- * 大会プログラムに掲載された報告概要の著作権は、日本犯罪社会学会に帰属します。
- * プロジェクタの使用を希望される場合は、その旨を申込みの際にお知らせください。なお、大会当日に報告者ご自身でご持参いただく機材（PC、USB メモリ等）については、使用会場の設備が決定次第、研究委員会からご連絡します。
- * 申込が受理されると自動的にメールが届きます。メールが届かない場合は、メールアドレスが誤っている可能性がありますので、再度お申込みください。それでも届かない場合は、メールでお問い合わせください。メールは第 52 回大会窓口 [hansha2025kenkyu@gmail.com] と学会事務局 [hansha@daishodai.ac.jp] の両方に送信してください。
- * 自由報告実施の日時や会場の指定はできません。
- * 報告タイトルや報告者（連名の場合の順番を含む）の変更は一切できません。
- * 大会以前に、他学会等で類似の報告がなされている（予定も含む）場合には、詳細の申告をお願いします。
- * 今大会では、レジュメ等の資料配布は原則としてオンラインで実施します。報告者ご自身の Google アカウントから、資料をアップロードしていただきます。詳細は後日、研究委員会よりメールにてご案内しますので、メールを必ずご確認ください。

● 自由報告でお守りいただきたいこと：

- * 自由報告会場には、（報告ではなく）セッション開始の 20 分前までに必ずお入りください。やむをえず遅刻・欠席する場合は、必ず上記メールアドレス宛にご連絡ください。
- * 自由報告時にプロジェクタをご使用になられる場合、必ずセッション開始時刻前に、動作確認をお願いします。
- * セッションの時間中に自由報告会場から離れることは、原則としてできません。無断で離れた場合には「報告が成立した」と認めない場合があります。
- * 自由報告者の方には、大会前日までに、メールで大会要旨集原稿をご提出いただきます。詳細は後日、研究委員会よりメールにてご案内しますので、メールを必ずご確認ください。

VII 『犯罪社会学研究』の自由論文投稿時のチェックリスト改定について

機関誌『犯罪社会学研究』では、47 号以降、自由論文の投稿に際して、「投稿原稿添付書・投稿チェックリスト」を投稿原稿とともに提出いただいています。これらは、提出する前に執筆者が投稿する原稿は本機関誌の投稿規定に従っているかどうかを最終確認していただくものです。

しかし、「投稿原稿添付書・投稿チェックリスト」では投稿規定に従っていると回答しながらも、投稿された原稿では、見出しの付け方、文献リストの書き方をはじめとして、投稿規定に従っていない原稿が散見されます。

そこで、機関誌 50 号以降の投稿チェックリストに、以下の項目を追加しました。

上記項目に関してチェックはされているものの、投稿論文が投稿規程を遵守していない場合には、投稿論文は受理されません。

投稿論文が投稿規程を遵守していない場合に、受理されないことを了承します。

投稿する前に、投稿チェックリストを使いながら、再度、原稿と投稿規定を照らし合わせて、投稿規定に従っているかどうかをご確認ください。

VIII 第24回（2025年度）「日本犯罪社会学会奨励賞」自薦・他薦の募集

日本犯罪社会学会では、犯罪、非行、刑事司法、及び、それらに関連する諸事象に関する社会科学的研究の活性化と発展のため、そして、知的資産の不断の蓄積および学術内容の更なる質的向上のため（特に若手研究者への刺激と登龍門として）、「日本犯罪社会学会奨励賞」を創設し、受賞研究業績を選考し表彰しております。

2025年度は、論文が選考対象となる年です。2023年4月から2025年3月までに公表された、原則として満35歳以下の会員（受賞時点で会員であること）による論文の自薦・他薦を募集いたします。ノミネートの期限は2025年3月31日（消印有効）です。詳細は学会ホームページの「奨励賞規約」（<http://hansha.daishodai.ac.jp/promotion/index.html>）をご覧ください。

自薦・他薦いただく際には、以下の情報を記した書面とともに、選考対象論文を5部、学会事務局宛ご送付いただくようお願いいたします。封筒に「奨励賞応募論文在中」とご明記ください。なお、応募された論文は返却いたしません。

- 1) 選考対象の著者名（フリガナ）、連絡先住所、電話番号、メールアドレス
- 2) 選考対象者の生年月日
- 3) 選考対象論文名、出版社名、出版年月日
- 4) 他薦の際には、推薦者の連絡先住所、電話番号、メールアドレス

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

奨励賞の受賞者は、総会で発表します。その際に、受賞理由を口頭で説明しますが、受賞者以外の応募者の氏名等については非公表とします。

奨励賞選考委員会の構成（敬称略、50音順）

岡邊健 笹倉香奈 辰野文理 津富宏 中島学

IX 終身会員制度のご案内

本学会では、「終身会員」制度を設けております。

これは、「通常会員として25年以上会費を納入した70歳以上」の方に申請していただき、理事会の承認を得た方が終身会員として認められる制度です。終身会員として認められた方は、終身の会費として15,000円を納入していただきます。

終身会員は選挙権を有し、機関誌への投稿、大会報告の申し込みができます。また、会員動向と大会プログラムも受け取ることができます。ただし、機関誌につきましては実費を頂戴いたします。詳細につきましては、学会ホームページの「終身会員に関する規則」（<http://hansha.daishodai.ac.jp/rule/index.html#shushin>）をご覧ください。申請書式もこちらからダウンロードできます。

学会事務局では、該当される方にこの制度に関してご連絡を差し上げる作業をしております。今後も会員に広く周知していく予定ですが、該当される会員の方はどうぞ申請をお考えください。

なお、第50回大会(2023年度)より、大会プログラムが完全電子化されることに伴い、終身会員の権利に変更が生じるため、下記の通り規則を改正しました。

改正前) 第4条 (権利)

2.日本犯罪社会学会事務局から、会員動向および大会プログラムを受け取ることが出来る。ただし、機関誌を受け取るためには、実費を支払わなければならない。

改正後) 第4条 (権利)

2.日本犯罪社会学会事務局から、会員宛の郵便物等を受け取ることが出来る。ただし、機関誌を受け取るためには、実費を支払わなければならない。

XI 各部・委員会報告

1 研究委員会

第52回大会は2025年10月11日(土)から12日(日)に、中央大学茗荷谷キャンパス(東京都文京区)で開催されます。詳細が決まりましたら、ニューズレター及び学会ウェブサイトでお知らせします。なお本大会では、試行的に託児サービスを導入することを検討しています。詳細は、次号のニューズレター及び学会ウェブサイトでお知らせします。

2 編集委員会

『犯罪社会学研究』49号が発行されました。皆様のご協力に感謝いたします。

『犯罪社会学研究』50号の自由論文・研究ノートの投稿締切は、2025年3月31日です。学会ホームページおよび『犯罪社会学研究』に記載されている投稿規程に従って、下記住所及びメールアドレス宛にご送付ください。なお、投稿締切に関して、海外からの投稿等の特別な事情のある方は、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。

また、投稿は常時受け付けております。会員の皆様のご投稿をお待ちしております。本誌が犯罪社会学の自由な学術フォーラムとなることを期待しています。

<自由論文・研究ノートの送付方法と送付先>

自由論文・研究ノートの投稿に際しては、次の郵便、宅配便貨物または信書便等(以下「郵便等」)による送付とメールによる送信の両方を必ず行ってください。

【郵便等による送付】

以下の住所宛に投稿原稿1部を郵便等で送付してください。締切は、郵便等での送付につき2025年3月31日消印有効といたします。なお、郵便等での送付は、必ず追跡できる方法によってください。

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 八ッ橋ビル7階 現代人文社気付
日本犯罪社会学会編集委員会

【メールによる送付】

メールでの送信は、以下の要領で、PDFファイルを電子メールに添付し、2025年3月31日23時59分までに、送信先のアドレスに送付してください。

メールの件名：犯罪社会学研究 50 号投稿_（半角アンダーバー）投稿者氏名
例：犯罪社会学研究 50 号投稿_犯社太郎
ファイル名：犯罪社会学研究投稿_（半角アンダーバー）日付
例：犯罪社会学研究投稿_20250331.pdf
送 信 先： hansha@genjin.jp

- * 投稿にあたっては、投稿時に日本犯罪社会学会の会員である必要があります。投稿者（共著論文の場合は全員について）は、遅くとも投稿締切日までに学会事務局に入会申込書を送達していなければなりません（同日必着）。この要件を満たさない場合は、論文を受理いたしません。現在非会員で、今後投稿を予定されている方ご注意ください。
- * 編集委員会では、自由投稿論文の英文校閲を行っておりません。そのため、自由投稿論文の英文要旨については、投稿時点で筆者の責任においてしかるべき方法で英文校閲をおこなっていることを投稿の要件といたします。なお、査読過程で英文要旨の修正を求めることがありますので、あらかじめご了承ください。
- * 海外から投稿の場合、必ず事前に編集委員会までご相談下さい。
- * 研究ノートでの審査をご希望の場合は、論文の表紙か別紙に明記していただくか、編集委員会に事前にご連絡ください。

学会誌編集業務に関するご意見・ご質問につきましては、下記までお寄せください。
<編集委員会事務局> hanshaedit18@gmail.com

3 企画調整委員会

【予告】第4回講座「犯罪学」について

第4回講座「犯罪学」（定員 50 名）を 2025 年 9 月 13 日（土）、14 日（日）、15 日（月・祝日）に立正大学品川キャンパスで開催する予定です。この詳細については、次号のニューズレター及び学会ウェブサイトでお知らせいたします。

4 渉外広報委員会

（1）若手海外派遣事業

アジア犯罪学会・ヨーロッパ犯罪学会・アメリカ犯罪学会で研究報告を行う若手研究者を対象として、渡航費用の一部を補助いたします。

補助費用の上限は 10 万円、募集人数は 2 名程度、応募締切は 2025 年 4 月末日となっております。

詳細については学会ホームページをご参照の上、奮ってご応募ください。

（2）研究会助成について

渉外広報委員会では、犯罪社会学に関する研究会に対し、助成を行っております。

年度ごとに 2 件、1 件あたりの助成金は 40,000 円です。

詳しくは学会ホームページをご参照の上、奮ってご応募ください。

5 本部事務局会計部

会費納入のお願い

まだ2024年度の会費をお支払い頂いていない方は、郵便振込にて会費を納入されるようお願い申し上げます。過年度未納分のある方は、古い年度分から充当させていただきます。金額、口座番号および口座名は下記の通りです。

また、領収書をご希望の方は払込票の通信欄にその旨を記入して下さい。

通常会員 8,000 円

院生会員 6,000 円（大学院に在籍し、かつ常勤の職を有しない会員）

国外会員 7,000 円（国外に在住し、かつ国内に連絡先を有しない会員）

郵便振替口座 00950-2-148284

加入者名 日本犯罪社会学会

会費を3年未納となりますと年度末で退会扱いとなります。滞納されていて会員の資格についてご確認なされたい方、また退会をお考えの方は、その旨を事務局まで御一報下さい。

なお、銀行振込や小切手での会費の支払いは受け付けておりませんのでご注意下さい。

6 本部事務局庶務部

(1) 会員数（2025年01月11日現在）

一般会員 421名、海外会員 2名、名誉会員 16名、終身会員 4名、特別会員 2団体、合計 445名

(2) 献本（2024年10月18日～2025年1月10日）

木下大生・丸山泰弘編著『だからワタシは「罪に問われた人たち」と生きる。』（現代人文社、2024年）

※個人情報保護のため、ニューズレターの記載は人数のみとします。会員各位には、年間1回、会員動向の詳細版を郵送いたします。

XI 第18期編集委員会委員査読委員の不掲載に関するお詫び

ニューズレター第141号（2024年2月20日発行）の「II 第18期理事会・学会事務局の体制について」において、18期編集委員会委員として委嘱された編集委員を掲載しましたが、委嘱された編集委員に掲載漏れがございました。大変失礼いたしました。

改めて、18期編集委員会委員を以下に掲載します。

<編集委員会委員>（敬称略・50音順）

松原英世（編集委員長）、朝田佳尚、石田侑矢、石塚伸一、大江将貴、大庭絵里、岡田和也、岡邊健、我藤諭、齊藤知範、阪口祐介、作田誠一郎、櫻井悟史、笹倉香奈、佐竹宏章、四方光、柴田守、島亜紀、新海浩之、鈴木政広、染田恵、武内謙治、辰野文理、津島昌寛、津富宏、寺本奈津樹、仲野由佳理、中村悠人、平山真理、宝月誠、本庄武、正木祐史、丸山泰弘、水藤昌彦、宮澤節生、宮園久栄、山口直也、山本功、山本奈生

お願い

転勤等で所属や連絡先を変更された場合は、学会事務局まで速やかにご連絡下さい。事務局では、会員の皆様からのご意見、ご要望、インフォメーションなど随時承っております。

日本犯罪社会学会 事務局

〒577-0036 東大阪市御厨栄町3-1-35 学術センター U-Box 2F

TEL : 06-6618-4324 (月～金 10 : 00 - 6 : 00)

E-mail : hansha@daishodai.ac.jp

*お問い合わせ・ご連絡は、なるべくメールでお願いいたします。

付

日本犯罪社会学会 2023 年度一般会計決算(案)

収入費目		内訳	2023年度決算	2023年度補正予算	2023年度予算
収入	学会費	(一般会員) 425名中243件(通常会員232件、院生会員9件、終身会員2件)、57.2%、1,960,000円	2,118,000	3,223,000	3,281,200
		(特別会員) 公益財団法人日工組社会安全研究財団100,000円 観谷大学矯正・保護センター50,000円			
	寄付金	匿名寄付2000円	2,000	0	0
	機関誌売上代	機関誌第48号8冊28,400円	28,400	30,000	30,000
	広告	金原出版、もとせプレス、萬学舎、日本評論社、成文堂、晃洋書房、日本加除出版、各5,000円 観谷大学、日工組社会安全研究財団、現代人文社、各20,000円	165,000	210,000	160,000
	預貯金利息	ゆうちょ銀行18円、その他銀行預貯金利息4円	22	100	100
	その他	立正大学300,000円(大会開催にむけた補助金)	300,000	300,000	—
小計		2,613,512	3,763,700	3,471,200	
前年度繰越金			8,437,228	8,437,228	7,888,638
合計			11,050,740	12,200,928	11,359,838
支出費目		内訳	2023年度決算	2023年度補正予算	2023年度予算
支出	印刷費	会合通知・資料等印刷、コピー費	0	52,000	52,000
	通信・交通費	機関誌等郵送料、交通費、連絡費	602,696	1,100,000	1,008,000
	会議・会合費	理事会・各委員会・事務各種作業打ち合わせ、部内研究会	28,461	78,000	63,000
	備品・消耗品費	事務用備品等消耗品購入	357,789	35,000	35,000
	人件費	学会本部事務、大会アルバイト、編集委員手当、英文校閲費等	206,752	273,000	223,000
	謝金		0	10,000	10,000
	大会準備関係費	大会準備に要する費用	790,894	1,441,000	511,000
	大会補助費	大会開催校への大会運営補助	400,000	400,000	100,000
	機関誌買上費	機関誌作成経費、抜き取り印刷費	1,484,010	1,335,000	1,200,000
	選挙関係積立費	理事選挙費用、名簿作成のための積立金	131,000	131,000	131,000
	その他	労災保険、GEMISS会費、慶弔費等	5,661	6,000	6,000
	小計		4,007,263	4,861,000	3,429,000
	次年度繰越金			7,043,477	7,339,928
合計			11,050,740	12,200,928	11,359,838

以上の通り、一般会計に関して報告致します。

2024年10月19日

会計理事

相良 翔



会計理事

赤羽 由起夫



監査の結果、一般会計収支決算に誤りのないことを認めます。

2024年10月19日

監事

田中 智仁



監事

山本 琢



日本犯罪社会学会2023年度選挙関係特別会計決算(案)

収入費目	内訳	2023年度決算	2023年度予算
選挙関係積立費	2022年度残高	500,686	500,686
	2023年度積立金	131,000	131,000
預貯金利息		4	2
合計		631,690	631,688

支出費目	内訳	2023年度決算	2023年度予算
選挙関係費	印刷費、通信・交通費、備品・消耗品費	339,740	400,000
積立金繰越金		291,950	231,688
合計		631,690	631,688

日本犯罪社会学会2023年度奨励賞基金特別会計決算(案)

収入費目	内訳	収入額
寄付	龍谷大学寄付1件	120,135
前年度繰越金	2022年度寄付金残高	769,511
預貯金利息		6
収入合計		889,652

支出費目	内訳	支出額
賞金	副賞	0
通信・交通費	奨励賞送付料(振込手数料)	0
支出小計		0
次年度繰越金		889,652
支出合計		889,652

日本犯罪社会学会2023年度研究基金特別会計決算(案)

収入費目	内訳	収入額
寄付		0
前年度繰越金		1,468,556
これまでの犯罪学セミナー運営費返金		481,980
預貯金利息		12
収入合計		1,950,548

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費		0
若手研究者海外派遣補助費		0
犯罪学セミナー運営費		100,000
通信・交通費		0
次年度繰越金		1,850,548
支出合計		1,950,548

以上の通り、特別会計に関してご報告致します。

会計理事

会計理事

監査の結果、特別会計収支決算に誤りのないことを認めます。

監事

監事

2024年10月19日

相良 翔



赤羽 由起夫



2024年10月19日

田中 智仁



山本 功



日本犯罪社会学会2024年度一般会計補正予算・2025年度予算(案)

収入費目	内 訳	2025年度予算	2024年度補正予算	2024年度予算	
収入	学 会 費	(通常会員) 24補正・25予算:411名 95% 3,123,600円 (特別会員) 日工組社会安全研究財団100,000円 龍谷大学矯正・保護総合センター 50,000円	3,273,600	¥3,273,600	3,223,600
	寄 付 金		0	0	0
	機 関 誌 売 上 代	機関誌売上	30,000	30,000	30,000
	広 告	出版社等広告	160,000	¥140,000	160,000
	預 貯 金 利 息		100	100	100
	そ の 他		0	0	0
	小 計		3,463,700	¥3,443,700	3,413,700
前 年 度 繰 越 金		6,109,077	¥7,043,477	7,339,928	
合 計		9,572,777	¥10,487,177	10,753,628	

支出費目	内 訳	2025年度予算	2024年度補正予算	2024年度予算	
支出	印 刷 費	会合通知・資料等印刷、コピー費	7,000	52,000	52,000
	通 信 ・ 交 通 費	機関誌等郵送料、交通費、連絡費	417,550	¥597,100	1,100,000
	会 議 ・ 会 合 費	理事会・各委員会・事務各種作業 打ち合わせ、部内研究会	54,000	¥64,000	78,000
	備 品 ・ 消 耗 品 費	事務用備品等消耗品購入	15,000	35,000	35,000
	人 件 費	学会本部事務、無職委員手当、英文校閲費等	311,000	¥363,000	223,000
	謝 金		-	10,000	10,000
	大 会 準 備 関 係 費	大会準備に要する費用	466,000	¥456,000	491,000
	大 会 補 助 費	大会開催校への大会運営補助	100,000	600,000	600,000
	機 関 誌 買 上 費	機関誌作成経費、抜き刷り印刷費	1,335,000	1,335,000	1,335,000
	選 挙 関 係 積 立 費	理事選挙費用、名簿作成のための積立金	145,000	160,000	160,000
	事 務 局 委 託 費		1,350,000	¥700,000	-
	そ の 他	労災保険、GEAHSS会費、慶弔費等	6,000	6,000	6,000
	小 計		4,206,550	¥4,378,100	4,090,000
	予 備 費		5,366,227	¥6,109,077	6,663,628
合 計		9,572,777	¥10,487,177	10,753,628	

¥マークを付した箇所が補正予算による変更

日本犯罪社会学会2025年度選挙関係特別会計予算(案)

収入費目	2025年度予算内訳	収入額	2024年度予算	2023年度決算
選挙関係積立金	2024年度積立金残高	451,952	291,950	500,686
	2025年度積立金	145,000	160,000	131,000
預貯金利息	預貯金利息	2	2	4
合計	合計	596,954	451,952	631,690

支出費目	2025年度予算内訳	支出額	2024年度予算	2023年度決算
選挙関係費	選挙名簿作成、会員名簿作成、選挙関係通信交通費	0	0	339,740
繰越金	2026年度繰越金	596,954	451,952	291,950
合計	合計	596,954	451,952	631,690

日本犯罪社会学会2025年度奨励賞基金特別会計予算(案)

収入費目	内訳	収入額
寄付		0
前年度繰越金	2024年度繰り越し金	782,652
預貯金利息		2
収入合計		782,654

支出費目	内訳	支出額
賞金	¥100,000 × 1人	100,000
通信交通費	著作物郵送代	2,000
備品消耗品費	祝儀袋、賞状代	5,000
支出小計		107,000
次年度繰越金		675,654
支出合計		782,654

日本犯罪社会学会2025年度研究基金特別会計予算(案)

収入費目	内訳	収入額
寄付		0
繰越金	2024年度繰越金	1,569,548
預貯金利息		6
収入合計		1,569,554

支出費目	内訳	支出額
研究会補助費	¥40,000円×2件	80,000
通信交通費	振込手数料等	1,000
若手研究者海外派遣補助事業	¥100,000円×2件	200,000
犯罪学セミナー運営費	100,000円	100,000
支出小計		381,000
次年度繰越金		1,188,554
支出合計		1,569,554